

一般質問

市民の声を市政に

議長は職責上（議事整理権）、監査委員は申し合わせにより、一般質問を行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に27人が登壇

市の歌「心の空」について



武 幹也
議員

新市施行10周年となる平成27年10月1日の記念式典において、市長の英断により市の歌「心の空」が発表され、約2年が経過したところです。

市の歌のCD制作および販売を行い、また、ホームページからも無料ダウンロードができるため、多くの方に市の歌が聴けるようになっていきます。徐々にはありますが、市の歌の浸透、定着が図られてきたと感じています。そこで改めて市の歌の反響やカラオケ配信について、また、今後市の記念日、記念とする時期に合わせて「愛唱歌」を10年ごとに制作したらどうか伺います。

○総合政策部長

平成29年10月の春日部市民の日から防災行政無線の夕方のチャイムで市の歌を放送しています。何の曲か教えて欲しい」「すてきなメロデーだ」「毎日楽しみにして

いる」などお褒めの言葉もいただいております。カラオケ配信についても配信業者と協議を始めたところです。

現在は市の歌をPRすることに努め、できるだけ早期の浸透、定着を図っていますので、「愛唱歌」の制作については今後必要な時期が来ましたら検討していきたいと考えています。

このほか

○まち・ひと・しごと創生総合戦略から第2次総合振興計画へ

○新庁舎建設に伴う考え方について

かすかべ特別奨学金制度及び（仮）科学技術学習児童館創設



一 佐藤
議員

石川市長の選挙公約の中から以下について伺います。

- ①県内で一番の奨学金を創設し、未来の子どもたちに春日部を託すという取り組みである特別奨学金の内容、目的、期待する効果、モデル自治体、今後のスケジュールについて
- ②（仮）科学技術学習児童館

創設の考え方、新たな学習の機会創設の取り組み、具体的な時期や場所について

○学務指導担当部長

①就学に伴う費用の援助など、子どもたちの将来の可能性を広げるための新たな支援を検討するもので、活力ある地域社会を築くために若者が活躍できる環境づくりを目的とし、学力向上や地域全体に新たな活力をもたらす効果を期待します。モデル自治体については現在情報収集中で、今後のスケジュールとしては市民ニーズや現状把握等が必要なため、十分な期間を持つて取り組みたいと考えています。

○子育て支援担当部長

②子ども達が自然や科学などに興味を持ち、学びのきっかけとなる新たな学習機会を創設したいと考え、様々な知識や技術を持った方々との連携、既存施設の活用なども含め検討したいと考えています。時期や場所は、子育て世代が求めるニーズを総合的に勘案し、公共施設の適正配置も含めた中で、より効果的な手法で実現したいと考えています。

このほか

- 道徳教育について
- 公共空間の利活用について

市政運営 市長4期目4年間の 舵取りについて



山崎 進
議員

石川市長は、今後も春日部市のさらなる発展のため、日本一幸せに暮らせるまちを目指して、引き続き愛する春日部をさらに元気にするため、現場主義を貫きながら、市政運営に全力投球する決意と覚悟を持って再選を目指すとして力強く表明をし、去る10月22日の市長選挙において、再選を果たされました。結果は驚くほどの僅差でした。

今回の結果をどのように受け止めているのか伺います。
また、春日部駅付近連続立体交差事業、武里団地の再開発についての考えを伺います。

○市長
今回の結果を踏まえた中で、いただいたご意見に真摯に向き合い、これまで以上に市民の皆さまとの対話やご意見を大事にしながら市政に反映していきたいと考えています。
鉄道高架事業は、早期着工、完成を目指して、やり遂げな

ければならないと考えており、これまでの実績と経験、人脈を生かしながら着実に前へと進めてまいります。

また、武里団地の再開発は、これまでも市として小学校の再編、保育所の開設などを行い、医療、商業、子育て、教育など、さまざまな都市機能が集積し、豊富な住宅ストックを有する地区として進められております。

今後もUR都市機構と連携しながら、積極的に取り組んでまいります。

このほか

○公共下水道の整備について



鉄道高架化が望まれる大踏切

起業家教育について



矢島 章好
議員

起業家教育とは、起業家を育成するための教育ではなく、起業家の素質を持った子どもたちを育てるものであり、これらの資質・能力は、「生きる力」の育成を目指す現在の教育にもつながる部分が多く、特に、他者と協働しながら主体的に学ぶアクティブ・ラーニングを通じて、思考力・判断力・表現力などを育成するという、次期学習指導要領の考え方にもつながってきます。

次期学習指導要領における起業家教育の取り扱いを含め、起業者教育の取り組みについて、本市の考えを伺います。

○学務指導担当部長

現行の学習指導要領および次期学習指導要領に起業家教育という用語は明記されていません。しかしながら、次期学習指導要領改訂の狙いの一つでもある、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質、能力

を育むなどについては、起業家教育の目的にも結び付くものであると受け止めています。

本市における取り組みの例は、市内全校の中学1年生1850人を対象に、地域の384事業所の協力を得て職場体験を行う社会体験チャレンジ事業を今年度も実施しております。また、各小中学校では、学年の発達段階や地域の実態に応じ、商店や工場への訪問、職業調べなどに取り組んでいます。

このほか

○学校現場での感染症予防対策について

安之堀川について



河井 美久
議員

安之堀川は、春日部市管理の準用河川であり、春日部駅西口一帯の広大な市街地をその流域に含んでおり、一級河川新方川へと流入しています。
春日部駅西口周辺のエリアは、もともと低い平らな地形であることから、降った雨が流れにくい地形であり、治水

対策が重要な課題となっております。

100ミリ安心プランの次のメニューとして、安之堀川の整備が始まるようですが、現在の整備状況を伺います。

また、具体的にどのような整備を予定しているのか、今後の計画についても伺います。

○建設部長

整備状況については、排水先である一級河川新方川が未整備であることから、流末の一部が未改修となっております。特に合流部においてポトルネックの状況であり、流れが阻害されていることから、流域になる、中央、大沼、谷原などの地域が冠水する要因の一つであると考えています。

未整備となっている一級河川新方川の合流部から上流約150メートル区間における整備を実施する予定です。

整備に当たり、流末である一級河川新方川の整備が不可欠であることから、埼玉県と連携を図り、拡幅に必要な用地の確保や実施設計などを進めながら、平成34年度までの完成を目指して事業を推進したいと考えています。

このほか

○会之堀川について

MTBI(軽度外傷性脳損傷) 対策について



栗原 信司 議員

MTBIとは、交通事故などで脳に衝撃が伝わり、脳損傷が起こることがありますが、WHOの定義として、30分以内の意識喪失、24時間未満の外傷後健忘症を示す脳損傷を示す脳損傷をMTBIとして

います。これらの症状は分かりづらいことから、同様の症状を訴えてもなかなか理解されず、対応が遅れて重症になる場合があります。

そこで、このMTBIに対する市の認識と対策について伺います。

○健康保険部長

MTBIは、一般的にはあまり認知されていない病気であり、また、それ故に、さまざまな症状に苦しんでいる方に対する「市民一人一人の理解と支援」が求められる病気でもあると認識しています。MTBIに対する社会的な理解が高まれば、早期の受診と治療につながるほか、罹患さ

れた方にとっても、周囲からの理解や支援も得られやすくなることから、病気に對する不安や心配の軽減が期待できます。本市としても、MTBIに關する原因、症状、予防などについて、広報かすかべや市の公式ホームページに掲載するなど、MTBIが市民に広く認知されるよう周知啓発を行ってまいります。

このほか

- 文化芸術振興策について
- 期日前投票の見直しで投票率向上へ
- 公共事業の発注で市内業者の育成を

春日部市商工振興センターの跡地活用について



金子 進 議員

商工振興センターは平成30年3月から解体工事を始める予定となっているが、地元の方々から建物に含まれているアスベストの飛散および除去費用の高騰が心配されていることについて、また、国から相談されている跡地の一部にハローワーク春日部および春

日部労働基準監督署の合同庁舎建設の協議の状況について伺います。

○環境経済部長

事前調査でアスベスト使用が確認された箇所については解体前にアスベストの除去を先に行います。除去にあたっては大気汚染防止法に基づき作業基準を順守し、作業員の健康被害や周辺への飛散防止を徹底し、安全には万全の対策を施し対応します。

除去費用については、建物の用途、建材の材質等により異なりますが、解体工事費用総額の10パーセント程度と、けた違いに多額の費用がかかるというものではありません。

また、国との協議状況ですが、市からさまざまな手法を提案、協議していましたが、去る11月22日に国から春日部労働総合庁舎の整備について、平成30年度予算に計上し、30年度中に春日部労働総合庁舎の整備のための用地を取得する予定であるとの一報をいただいたところ です。

このほか

- ごみ処理施設及びし尿処理施設について
- 武里団地の再開発と北春日部駅西側の開発について

芝のサッカー場(多目的競技場)について



鬼丸 裕史 議員

私は、これまでにウイング・ハット春日部周辺の整備と芝のグラウンド整備について、継続的に伺ってきました。春日部市は非常にサッカーが盛んな街ではないかと思えます。老若男女問わず、多くの方が、汗を流している姿を見見ると、より環境の整った、芝のサッカー場での活躍を見てみたいとなります。そこで伺います。

①芝のサッカー場の創設を目指すことについて、どのように進めていくのか②どのようなものを想定しているのか③建設場所は、どの様な場所が良いと考えているのか④スケジュールについて⑤市長の考え

○社会教育部長

- ①春日部市体育施設整備基本計画の見直しを行う庁内検討委員会、検討を行っていただきます。
- ②観戦もできるような施設の形態にしたいと考えます。
- ③総合体育館周辺への創

設に向けて、用地の取得とともに検討したいと考えます。④平成31年3月を目途として新たな計画を策定したいと考えます。さらに、計画的に用地取得に努め、段階的に施設整備を行いたいと考えます。

○市長

未来の投資のためにも現状を把握し、芝のサッカー場を含めたスポーツ選手の夢の場を創設してまいります。

- このほか
- 平成30年度当初予算の編成について
- 手話言語条例の制定について



市内のサッカー場 (谷原中西側グラウンド)

学校給食について



鈴木 一利
議員

現在、春日部市ではおいしい給食として食育の観点でも素晴らしい給食が提供されており、栄養士の皆さまをはじめ、関係者の皆さまの努力に感謝申し上げます。

現状、本市の給食は春日部地域の自校方式と庄和地域での給食センター方式となっています。そこでまず給食センター方式での保温性の高い食缶の全校導入に対する見解を伺います。また、地域の皆さまへの本市学校給食ご理解の場としても、学校給食試食会の開催について伺います。そして給食費の問題として、まずは多子世帯への給食費無料化から始めることに對する本市の見解を伺います。

○学務指導担当部長

既存の食缶と形状や大きさが異なり、保管スペースなど施設面で課題が生じるため、計画的に順次切り替えを進めていきたいと考えています。



ある日の学校給食

給食センターでの給食試食会の開催については効果的な取り組みですので、今後、他自治体の給食センターの取り組みを参考にしながら、さらなる実施に向け検討します。

多子世帯の給食費補助制度実施については、さまざまな課題があるため、他自治体の事例を参考に制度構築を検討していきます。

このほか

○不登校対策の取り組みについて

○ボランティアポイント制度の導入を（介護支援ボランティア制度の利用促進）

聴覚障がい者支援について



荒木 洋美
議員

12月3日から9日まで障がい者基本法で定める「障がい者週間」となっています。

「障がいの有無によつて分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会」の実現を目指して設定されたものです。

そこで本市においても障がい者支援のさまざまな取り組みを行っていますが、聴覚障がい者の安心・安全なまちづくりの一環として、緊急時の対応について、昨年3月定例会一般質問で緊急通報に利用するメール119を提案、要望しましたが、その後の調査の進捗状況について伺います。

○消防長

メール119について調査研究したところ、通報場所を特定することが困難であるなど、大きな課題のあることが判明しました。また、新たに全国統一規格のネット119

システムが国から示され、全国の消防本部で整備を進めるよう通知されたところです。

障がいのある方が安心して穏やかに暮らせるよう、ネット119導入の早期実現に努めます。

このほか

○子育て世代包括支援センター（春日部版ネウボラ）について

○タクシークーポン券について

○2020年の東京オリンピック・パラリンピックをわがまちから盛り上げよう

○独居老人終活支援について

市民サービスの向上に向けて支所・出張所の業務内容について



小久保 史博
議員

武里出張所はもともと、本庁舎から遠距離の市民の方々に向けて、わざわざ本庁舎まで来なくても済むように簡単な窓口業務を行うために、昭和41年に開設をされ、平成11年から現在の場所にあります。高額医療費の申請に出張所に出向いたところ、出張所では

取り扱いができないと断られた方から、もつと使い勝手を良くしてほしいとお話を頂きました。元々が昭和41年当時の時代背景の中で設置をされた出張所ですが、時代の流れの中で当然ニーズが変わってきます。現在まで種々業務内容を拡充してきたことと思いますが、今後の超高齢化社会を見据えて出張所の業務内容は充実できるのか、その可能性について伺います。

○市民生活部長

開設以来、市民課の出先機関として位置づけている中で、市民課固有の業務を中心に業務を行ってきました。これまでも市民サービス向上のため、市民課以外の業務として、重度心身障害者医療費、こども医療費、児童手当の申請の受け付け、市税の諸証明の交付や収納等の業務を拡充してきました。しかしながら、現状の施設の規模、人員配置等を勘案すると、これ以上の業務の拡充は難しいと考えているところです。今後についても引き続き市民に身近な窓口サービスを提供していきます。

このほか

○石川市長の選挙公約の中から

日本一子育てしやすい まち春日部を目指して



石川 友和
議員

石川市長が市長就任当初から掲げているスローガン「日本一子育てしやすいまち春日部を目指して」について、現在、春日部市はいろいろな角度から子育て支援策を行っているかと思えます。それらの子育て支援策を伺うとともに、全国的な問題となっている待機児童問題について、春日部市としても限りなくゼロに近づくために大いに努力していただいていることは認識していますが、市として取り組んでいる待機児童解消策について伺います。

○子育て支援担当部長

子育て支援策として、子ども・子育て支援事業計画に基づき、親子の居場所作りや家庭児童相談等を行っています。待機児童解消に向けては、低年齢児を中心とした利用定員の拡大を図るため、民間保育園の改築に合わせた定員の増、小規模保育事業の開設準備、幼稚園型認定こども園への移行準備等を進めています。平成30年度の施設整備の現状として、263人の利用定員の拡大を見込み、平成31年度もそれ以上の拡大を目指します。今後の取り組みとしては、新たな公立保育所の整備に向けた検討を進めています。

○市長

今後も子育て支援をはじめとするさまざまな取り組みを積み重ね、市民の皆さまが日本一幸せに子育てを楽しみ、元気でいきいきと笑顔で暮らせるまちづくりを進めてまいります。

庄和北部地域の 活性化について



齋藤 義則
議員

庄和北部地域は少子高齢化により児童数の減少が著しく、学校の存続すら心配されている地域です。現在進められている学校再編による義務教育学校の開校は、地域の活性化・人口減少を改善するため、また、庄和地域で催されて

いるイベントや施設では大変多くの参加者がありますが、市では庄和北部地域活性化のためにどのような政策を考えているか伺います。

○環境経済部長

大風文化保存会の活動拠点や大風を活用した地域が活性化するためには、学校再編が進められています。跡地の活用により、大風会館に替わる施設となれば、凧づくり教室の開催や大風の制作風景、常時展示した凧を一般公開するなど、大風への理解や関心を深めることにつながるものと考えています。

大風の活動拠点施設を庄和地域の観光拠点として、民間施設の藤花園、市の施設である道の駅庄和や庄和総合公園、国の施設の首都圏外郭放水路などを結び、桜やフジの花、田園風景、河川環境など四季折々の景観を活用し、春日部駅周辺から庄和北部地域への観光ルートなど、交通事業者や民間団体などと連携協力し、調査研究していきたいと考えています。

このほか

○準用河川庄内領悪水路・18号水路の冠水対策について

市長選の公約実現に向けて、 石川市長の市政運営を問う



松本 浩一
議員

市長選挙で石川市長が4期目の当選を果たしました。2人の公約には共通する点が多くあります。公約は市民への約束であり、しっかりと実現していくことが必要です。

①わずか8票差での当選です。石川市長の感想を伺います。岩候補の公約も実現しなければならぬと思います。岩候補は、市民の声が届かない市政から、あなたの声を聴く市政へと主張しました。市民の声が届かない市政であったと批判されたわけですが、どう思いますか。④公約の中で、県内で一番の奨学金の創設について、具体的な内容を伺います。⑤各地区の未来への投資として、幸松地区については、4年以内小淵橋通りを梅田・内牧地区へ、不動院野線の延伸をめざすとの公約がありました。が、実現できるのですか。

○市長

①これまでの取り組みが評価された一方で、厳しい意見もいただいたものと受け止めています。②私の公約が実現できるよう努めます。③市民の皆さまのご意見を大事にしながら取り組みます。④オリジナル性のある制度を構築したいと思います。⑤小淵橋通りは、方向性を検討し、不動院野線は、周辺環境の変化に応じて対応したいと思えます。

このほか

○障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせる入所施設の早期設置を

